

今とあしたに責任を持つ政策

かくま正一^{まさかず}通信

〈発行日〉 令和3年3月 〈発行者〉 自由民主党富山県議会議員会
 〈事務所〉 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保977-1
 〈TEL〉 0765-82-1333 〈FAX〉 0765-82-2113
 〈URL〉 <http://kakuma-masakazu.jp> 〈Eメール〉 masakazu@kakuma.net

ごあいさつ

皆様こんにちは。平素より温かいご指導、ご支援を賜わり、お陰様で元気に議員活動が出来ておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、令和3年1月上中旬において、新型コロナウイルス感染症の再拡大（第3波）、大渋滞や農業被害をもたらした大雪（県内全域）、そして高病原性鳥インフルエンザの発生（小矢部市内の養鶏場）がほぼ同時に起こりました。いずれも関係の皆さんが昼夜を分かたず大変なご尽力によりこれらの緊急事態に対応されました。コロナ感染症の新規発生は落ち着きを見せ、今は県民へのワクチン接種の時期が焦点となっております。また大雪については、除雪体制の見直しや県民への広報のあり方等今後重要な教訓を残しました。また鳥インフルエンザについては、2月19日に事態の終息宣言が出されました。県議会においても、これらの事態に対応すべく、2月10日に臨時議会が開催され、また2月26日からは2月定例議会が開催され、コロナ対策、農業被害対策、大雪対策等に対処すると共に、令和3年度当初予算を審議しているところです。

本通信では、近況をご報告させていただきます。何卒、今後とも皆様のご指導と叱咤激励を賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

令和3年3月 富山県議会議員 鹿熊 正一

新田知事への代表質問

令和2月12月1日に、自民党議員会を代表して新田知事に質問しました。新田知事に対する初の代表質問であり基本的な質疑を行いました。全24問の内、6項目について質問と答弁の要点を紹介します。

Q1 実現しようとする富山県の姿とは？

A 国内外に誇るべき本県の優れた基盤を活かし、県民皆がワンチームとして連携し、「ワクワクしチャンスがあり夢が叶えられる富山県」を創りたい。

Q2 副知事を複数にする理由は？

A 複数体制にして役割分担と権限委譲により、県庁のマネジメントを強化しスピーディに諸課題に対応するとともに、行政の効率化と生産性の向上にも努めたい。

⇒その後の動き

令和3年2月議会において、副知事2人とする条例案が提案され、新田知事からその理由について、意思決定のスピード化、同時2方面の対外交渉、危機管理対応、女性活躍と説明。1人は農林水産省の女性官僚を起用とのこと。私は、納得のできる説明であると受け止めた。

Q3 知事と市長村長との「ワンチームとやま連携推進本部」の運営方針は？

A 概ね四半期ごとに会議を開催し、首長同士で課題を共有し、連携する事項や政策を直接協議したい。また、県・市町村の担当課で構成するWG等も設置し連携事項の具体策を検討していきたい。

⇒その後の動き

令和3年1月19日、第1回ワンチームとやま連携推進本部会議が開催され、当面の課題として、「防災・危機管理体制の連携・強化」と「自治体行政のデジタル化」等5項目について連携し政策を進めていくことが決定された。



Q4 公約に掲げた「令和の公共インフラ・ニューディール政策」とは？また建設業の経営基盤の強化にどう取り組むのか？

A 社会資本整備を計画的かつ強力に進めることで県土強靱化とコロナ禍で低迷する地域経済の活性化の双方を目指すものである。建設業は社会資本整備の担い手かつ地域の安全・安心の守り手である。その経営基盤の強化のため、公共事業予算の安定的確保と建設現場の生産性向上に取り組む。

⇒その後の動き

後述するように、令和3年度当初予算（2月補正を含めた14か月予算）では、対前年を上回る公共事業予算が編成された。また、建設業の生産性向上を目指し「地域を支える建設業経営力強化支援事業」が新年度にスタートする。

Q5 ツキノワグマによる人身被害を防ぐため駆除の徹底が必要であるが方針は？また人とクマとの共生についての考えは？

A 人里周辺では人身被害防止を最優先とし、迅速な捕獲に努めており、管理計画に定める捕獲上限数の140頭を既に上回る154頭を捕獲している（R2.11.23現在）。また、人とクマとの共生については、地域区分に応じた取組みを推進し、人身被害の防止を最優先としつつ、クマの生息環境管理との両立に取り組む。

⇒その後の動き

新年度、クマ対策に寄与する効果的な里山林整備の進め方を検討する事業がスタートする。



Q6 県立泊高校等高校再編対象4校の在校生に対する充実した教育の保障と建物・跡地活用策について責任をもって解決する決意は？

A 在校生に対する教育環境の充実・強化に重点的に取り組む。具体的には、選択科目数の確保や少人数教育推進に必要な教員の継続配置等。建物・跡地については、関係市町とは今まで以上に密接に連携協力して、地元の理解が得られる活用策の実現に責任をもって取り組む。

令和3年度当初予算編成に向けた活動

自民党議員会は、令和2年5月頃から継続的に、各市町村の自民党政策責任者や各団体の皆さんとの意見交換・要望ヒアリングや現地視察等を行い、様々な課題・ニーズの把握に努めました。特に、この1年は、コロナ禍で深刻な状況にある飲食関連業者、観光関連業者、交通事業者等から経済的支援を求める要望が多く寄せられました。私達は、県民の命と暮らし、雇用を守るのが政治の責任であるとの思いで、皆さんの切実な声が令和3年度の県予算に反映されるよう取り組みました。

令和2年12月1日には、これまでの取り組みを集約し自民党議員会としての要望・提言を新田知事に行いました。(右上写真)

そして翌3年2月3日には、最終的な予算折衝を知事と行いました。(右下写真)

結果として、自民党議員会の要望がしっかりと反映された予算編成となりました。

予算規模は6,335億7,501万円で、国交付金等を活用したコロナ対策経費の大幅な増加により対前年度+10.9%と、当初予算としては過去最大規模となりました。



《主な事業の抜粋》

●新型コロナ対策（経済雇用対策として）

- ・富山県中小企業リバイバル補助金 15億円
(事業者に最大100万円～200万円補助)
- ・新型コロナに係る公共交通支援事業
11億9,700万円
- ・コロナ離職者再就職支援事業 2,800万円
- ・ひとり親世帯への県独自の生活支援給付金事業
1億9,400万円(3万円/世帯支給)

●安全・安心な地域づくり対策

- ・鳥獣被害防止総合対策事業 5億1,200万円
- ・地域自殺対策ネットワーク構築事業 450万円
- ・厚生センター新型コロナ対応体制強化事業
7,500万円
- ・農業用水路事故防止対策事業 6,600万円
- ・再生可能エネルギービジョン改定事業
1,150万円

●中山間地域の活性化事業

- ・集落支援推進事業 2,100万円
(地域コンシェルジュ3名増員し計4名)
- ・中山間地域ドローン物流実証事業 800万円
- ・中山間地域交通網維持活性化支援事業費補助金
800万円(ノックルあさひまちへの支援等)

●UIターン・移住支援事業

- ・とやまUIターン起業支援事業 3,300万円
- ・富山サテライトオフィス誘致プロジェクト事業
2,170万円
- ・とやまでお試しテレワーク移住促進事業
1,000万円

●教育の充実

- ・スクールソーシャルワーカー活用事業
2,600万円
- ・スクールサポートスタッフ配置事業
3億3,000万円(全公立学校311校に配置)
- ・部活動指導員配置促進事業 3,700万円
- ・GIGAスクール構想推進事業 6,500万円

●令和の公共インフラ・ニューディール政策

- ・公共事業費 889億円
(14か月予算で比較して対前年度+2.9%)
- ・主要県単独事業費 179億円
(14か月予算で比較して対前年度+5.6%)

（道路、河川、海岸、砂防、橋、トンネル、治山、土地改良施設等のインフラ整備を推進し県土強靱化と経済活性化を図る。）

道路環境の整備は安全安心な社会の第一歩!!

●国道8号現道拡幅（入膳地内）と入善黒部バイパスの4車線化促進



生活と物流を支える国道8号の渋滞解消が急がれる

●国道8号城山トンネル・横尾トンネルの抜本的対策《新規トンネルの建設》



事故時に避難路や緊急車両の進入路もなく重大な人的被害が憂慮される。また、富山県と新潟県を結ぶ強固な幹線道路の構築が必要

●県道大家庄東草野線の朝日橋の掛替え



老朽化が進み、かつ狭く掛替えの必要性が生じている

⇒これらの整備には、国、県に対し、粘り強く戦略的な要望活動が必要です。関係の皆さんと共にしっかりと取り組みます。

トピックス

R2
12/24

自民党朝日町支部は、コロナ禍の長期化で困窮する町内の小規模零細事業者や生活困窮者への経済的支援策の強化等15項目の要望を町当局に行った。笹原町長は要望をよく検討し、しっかり予算編成に取り組むと回答された。



R3
1/19

黒部市石田交流プラザで開催中の北朝鮮による拉致問題の啓発パネル展を見学。拉致問題を県民に想起させるこのような草の根活動の大切さを再認識した。



R3
1/13

県議会山村振興議員連盟（会長：鹿熊）は、コロナ禍を経験し田舎の価値が一層高まる中で、山村の維持と多面的機能の発揮に向けた予算・政策要望を新田知事に行った。知事は山村の意義や価値について理解を示された。



R3
2/1

あさひフレイル予防サポーターの会（代表：小林茂和氏）活動報告会及び記念講演会が朝日町図書館で開催。サポーターの皆さん、町当局、東大・富大の3者が連携したフレイル予防活動は健康長寿のまちづくりの原動力になると思う。

